



SNET台湾 みんなの台湾修学旅行ナビ
https://taiwan-shugakuryoko.jp/spot_north/2441/



エリア

新竹県

テーマ

歴史

政治

張学良文化園區

台湾からも隔たれた貴公子の旧宅

張学良文化園區は新竹の清泉温泉に設置された文化公園であり、新竹駅から南東へ約45km、または内湾線竹東駅から南へ約30kmのところに位置します。清泉は雪山山脈の西側に当たり、かなり山深い温泉地です。タイヤル族やサイシャット族の住む集落があります。日本統治時代に警察官が温泉を掘り出し、井上温泉と名付けました。第二次世界大戦後しばらくしてから、清泉温泉と呼ばれるようになります。下の年表の通り、かつて張学良が5、6年ほどここに軟禁されていました。当時の家屋は後の台風で流されたものの、2008年12月に新竹県と五峰郷が張学良を記念し、少し場所を移して「張学良故居」を再建します。2014年にはこの旧宅一帯を「張学良文化園區」に位置付けました。

学 び の ポ イ ン ト

1.

張学良とは？

張学良(1901-2001)は、満洲(現在の中国東北部)出身の軍人です。奉天軍閥のリーダーである張作霖の長子として生まれました。満洲の貴公子として注目された彼は、張作霖爆殺事件(1928年)の後に若くして父の仕事を継ぎ、国民政府に合流して中華民国の全国統一に寄与し、そのため蒋介石に次ぐ中国のNo.2となります。しかし、満洲事変(1931年)で日本軍に故郷から追われ、華北にて掃共戦(共産党殲滅作戦)に従事します。

1930年代の中国は「内憂外患」(国内での反政府活動と外国による侵略)に直面していました。中国のリーダーである蒋介石は、「安内攘外」(先に共産党を殲滅して国内を統合してから、日本の中国侵略を掃う)の政策を採ります。一方、張学良は、「停止内戦一致抗日」(国共内戦をやめて、中国が一致団結して日本の中国侵略に抵抗する)を主張し、1936年12月12日に西安で蒋介石を軟禁して、武力を背景に政策を転換するよう蒋介石に迫ります(西安事件)。蒋介石が政策転換を受け入れたのかどうかはさておき、その後の歴史は張学良が望んだようになりました。同時に、壊滅寸前だった中国共産党は、西安事件をきっかけに息を吹き返します。

張学良は事件勃発2週間後のクリスマスの日に蒋介石を解放し、同伴して空路で西安から当時の首都南京へ蒋を送り届けると、南京の軍事法廷で裁かれ、軟禁されてしまいます。1937年夏に日中戦争(抗日戦争)が始まると、中華民国は拠点を南京から長江を遡った重慶へ遷します。さらに抗日戦争後に再び国共内戦が勃発し、中華民国は1949年末に台湾へ撤退します。張学良は軟禁状態のまま陸路で南京から重慶へ、そして空路で台湾へ移送されました。

2.

張学良はなぜ幽閉されていたの？

張学良が幽閉されたのは、彼が西安事件の内幕を知っていたからでしょう。抗日戦争後の国共内戦で、蒋介石は自身をリーダーとする中国国民党が中心になって中国を統治すべきだと主張して、毛沢東をリーダーとする中国共産党と、中国統治の主導権争いを展開します。国民党の主張は1949年10月に共産党が中華人民共和国の建国を宣言し、国民党が中華民国の中央政府を引き連れて台湾へ移転した後も、さらに1975年に蒋介石が死去しても、なお続きます。西安事件での蒋介石の実際の行動は、蒋介石の偉大さを傷つける内容であった可能性が高く、それゆえに中華民国や国民党は張学良に真相を暴露されるのを恐れ、張学良を幽閉し続けたのでしょう。1990年6月に台北の圓山ホテルで張学良90歳の誕生日会が開催され、久しぶりに公の場に姿を現しました。これは、台湾の民主化が進み、蒋介石の脱神話化が進んだ時期にほぼ重なります。

3.

なぜ張学良は注目されるの？

なぜ台湾で張学良が注目されるのか、実はよくわかりません。ここまでの説明からもわかるように、張学良はほとんど台湾と関わっていません。国民党政権が約40年間にわたり、張を台湾の山奥に閉じ込めていたのです。1990年代以降、台湾で民主化が進み、表舞台からは消えていた張学良についても、関心が集まりました。例えるならば、伝説的なプレイボーイの「あの人は今!？」です。蒋介石に銃口を向けた人物に対して、判官鼻肩があったのかもしれませんが。同じく1990年代には中華人民共和国が国際社会で影響力を強め、台湾との関係についても再考し始めました。中華人民共和国が台湾海峡の兩岸(つまり中台)を繋ぐことのできる人物として、張学良を利用します。21世紀になり中国大陆から台湾への観光旅行が解禁されると、台湾への中国人観光客が増え、張学良は観光資源となります。張学良を題材とする書籍、映像、グッズも売り出されました。それにともない、中国人観光客が興味を持ちそうな人物にまつわる観光スポットも整備されたのでしょう。